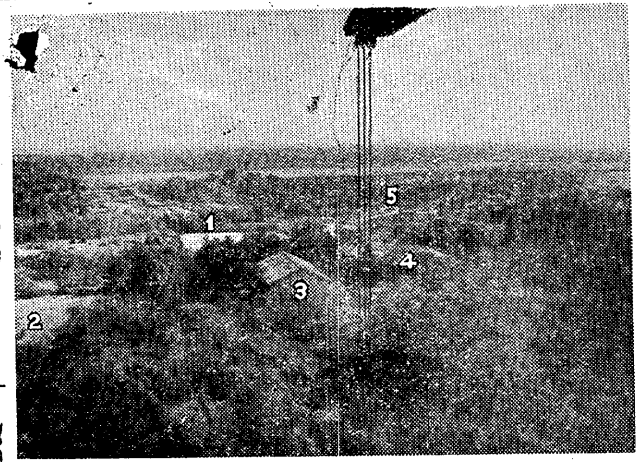
関西大學新報
号外
発行所 大阪府吹田市千里山 関西大学文化会館内 関西大学新報社
編集兼発行人 小川晴司

千里山パーク 買取り交渉成る！

本紙第十二号(五月一日付)で報じたごとく千里山パーク賣渡し問題は本学理事会と京阪神急行電鉄と正式賣買契約をしたカソリック教團に対し、本学発展のため譲渡し交渉を重ねて來たが、十月十九日春原本学理事及び東浦一部委員長らとカソリック教團側マリー・ジョセフ女史(女子学院々長候補)との会見交渉により、本学が買取ることに交渉が成立した



春原理事談　今度の千里山パーク賣取り交渉によつて今まで対立状態であつたところの理事会と自治会が関西大学発展のため、お互が協力しあうことが成り来り收めたことは今までに無い喜び、このようなことは非常に嬉しい

写真は買取り交渉なつた旧千里山パーク全景
①大グランド ②第二グランド ③菊人形跡
④野外公会堂 ⑤京阪千里山線
(飛行機上から撮影本社写真部撮影)

一高文化祭開く

関大一高文化祭は十月廿九日天六学舎講堂に開かれ弁論大会、研究発表会、のど自慢、人形劇(ロビン姫)、全国大学競争競技等があつて盛会を極めた

関々戦問題 謝罪要求決議

＝一部学生大会で＝

第一部学部学生大会は十月十七日緑陰教室に開かれ議長に清水貞夫君(学法四)が選出され議事に入つた

問題の六大学関々戦問題では試合結過を坂本マネージャーが説明、次に当日球場で開かれた学生大会の決議を渉委員としての應援團幹部問題委員長からの報告として関々戦報告部が逐一述べられ、結論として我々はスポーツの理点にこだはつているのではない審判員の不解を追究している、そして絶対に謝罪を要求していてこれを出來ない場合は主張委員によつて決定したいと述べた

應援團は試合阻止せず

應援團々長河合鐘明氏はこのほどの関々戦問題に対し本紙N記者に次の如く語つた

この問題は一般新聞などでは傷害事件の試合を阻止したやうに書かれているが断じてそうではなくあくまでも学生大会(注当日球場での)決議による交渉委員の一員としてただに球場たる私に訴れたるだけで、学生大会の意志を申し込んだのである、その間に紛糾の介在によつて変に解決せられているのはあやまりである、このことはむしろ最善の行為であると思う

詳細は次号16号を御覧ください

大学祭豪華に開く

第一日はうすぐもりのかんばしくない天候であつたが、定刻より少しおくれ祝賀式、開会式、表彰式について各種運動競技を展開、たそがれそまるころ一高生のストームにその幕を閉じた

第二日は秋晴れの好天気でクライフィナーレの名物庄巻の大餅りにはやゝの拍手を送つたが、または緑陰会館で各種展覧会、デコレーションが展かれ終日にぎわいをそいした

(詳細は次号16号を御覧ください)